

令和２年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 取組実績と評価

(単位：円)

No	交付対象事業の名称	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費		取組内容・実績	評価（成果・課題）
						うち臨時交付金		
1	中小企業向け信用保証料支援	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受け、経営の安定に支障を生じている中小企業者に対し、信用保証協会への信用保証料を補助することで円滑な資金繰りを支援する。	R2. 4	R2. 12	13, 821, 930	13, 821, 930	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて経営の安定に支障が生じている中小企業者に対し、信用保証協会への信用保証料を補助し、円滑な資金繰りを支援した。 ・セーフティネット認定数 830件 ・交付決定数 38件	事業者の円滑な資金繰りを支援し、経営の安定に寄与した。
2	休業要請事業者経営継続支援事業	兵庫県と市町で協調し、県の要請で時短営業に協力した飲食店等の店舗に対し、協力金を支給する。	R2. 4	R2. 12	26, 650, 000	26, 650, 000	兵庫県と協調し、県の休業要請に応じた中小法人・個人事業主の事業継続を支援した。 ※兵庫県に委託する形で実施 ・交付決定数 198件	兵庫県と協調して198件の交付を行い、事業者の事業継続に寄与した。
3	中小企業者店舗等家賃補助	売上が減少している事業者に対し、事業用建物の賃借料の一部を助成することで、事業継続を支援する。	R2. 5	R2. 9	28, 391, 000	28, 391, 000	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受け、売上が減少している事業者に対し、令和２年２月１日から７月31日までに支払った事業用建物の賃借料の一部を補助（上限10万円）した。 ・対象者 令和２年４月から７月までのいずれかの月の売上前年同月比20%以上減少している事業者 ・交付決定数 185件	売上が減少した事業者に対して185件の家賃補助を行い、事業継続に寄与した。
4	中小企業者事業継続応援金支給	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受け、売上が減少している事業者に対して、事業継続のための応援金を支給する。	R2. 5	R2. 9	134, 175, 841	134, 175, 841	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受け、売上が減少している事業者に対し、事業継続のための応援金（１事業者あたり10万円）を支給した。 ・対象者 令和２年４月から７月までのいずれかの月の売上が前年同月比20%以上減少している事業者 ・交付決定数 1, 340事業者	売上が減少した事業者に対して1, 340件の応援金を交付し、事業継続に寄与した。
5	プレミアム商品券発行支援	プレミアム商品券を紙媒体や地域電子通貨で発行することで、個人の地域内消費喚起し、地域経済の活性化を実施する。	R2. 5	R4. 1	151, 225, 146	151, 225, 146	地域内消費喚起し、地域経済の活性化を図るため、たんば商業協同組合が発行するたんば共通商品券にプレミアムを付加し、プレミアム商品券として紙媒体や地域電子通貨（たんばコイン）での発行を支援した。 ・プレミアム率25% ・１次販売：R2. 10. 1～11. 13 最大２万５千円の商品券を２万円で販売 購入世帯数：16, 289世帯/26, 045世帯 （購入率62. 54%） 購入冊数：80, 996冊（４億498万円） ・２次販売：R2. 11. 21～12. 18 最大５万円のとんばコインを４万円で販売 購入人数：5, 023人 購入金額：２億4, 502万円	プレミアム商品券及びプレミアムたんばコインを発行することで、地域内の消費喚起及び地域経済の回復につなげた。
6	飲食店の消費促進支援	テイクアウトなど感染症対策を踏まえた市内飲食店での消費を促進するため、一定以上の利用をした者に対し、商品券を進呈するほか、抽選でふるさと産品を贈る。	R2. 5	R2. 10	18, 927, 569	18, 927, 569	市内の飲食店３店舗でそれぞれテイクアウト商品を２千円以上購入した市内在住者等に対し、たんば共通商品券３千円分を交付した。また、194人にふるさと産品を贈った。 ※たんば商業協同組合に委託して実施 ・交付実績 5, 190人	令和２年４月に発出された外出自粛宣言によって飲食店が影響を受けたが、本事業を実施することによって飲食店におけるテイクアウト商品の消費を促進するとともに、市民挙げて飲食店の応援につなげた。
7	雇用調整助成金申請支援	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受けて、雇用調整助成金の申請を社会保険労務士に委託する事業者に対して、委託に係る費用の一部を補助する。	R2. 5	R4. 3	5, 490, 000	5, 490, 000	雇用調整助成金の申請を社会保険労務士に委託する事業者に対し、委託に係る費用の一部を補助（上限10万円）した。 ・交付決定件数 71件 ・雇用調整助成金に係る相談会の実施 相談実績 30者	雇用調整助成金の国への申請を社会保険労務士に委託することで本来の事業に専念することができ、事業者の事業継続に寄与した。

令和２年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 取組実績と評価

(単位：円)

No	交付対象事業の名称	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費		取組内容・実績	評価（成果・課題）
						うち臨時交付金		
8	GIGAスクール活用	小学校22校・中学校7校のGIGAスクール構想を加速させ、学びの保障と学習環境の整備を実施する。	R2.5	R3.3	216,696,331	216,696,331	市立小学校及び中学校のタブレット端末のうち3分の1を整備するとともに、学習支援ソフト等の整備、ネットワーク機器、タッチペン等の整備を行った。 【主なもの】 ・タブレット端末 1,954台 ・学習支援ソフト等 5,169本 ・ネットワーク機器 18台 ・タッチペン 5,150本	児童生徒一人一台のタブレット端末及び学習支援ソフト等を導入することで、新型コロナウイルス感染症による学校休業等においても全ての子どもたちが学びを継続することができるICT環境の整備ができた。
9-1	衛生資材の確保・提供（庁舎・窓口）	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、庁舎、社会体育施設、道の駅等の市有施設に衛生資材等を配備する。	R2.4	R4.3	14,355,736	14,355,736	感染症予防対策に係る物品・機器を購入した。 【主なもの】 ペーパータオル、フェイスシールド、アルコール消毒液、感染症対策用遮へい板、使い捨て手袋、赤外線体温計、非接触型サーモグラフィ、二酸化炭素濃度測定器、接触回避のためのレジ台や作業台（道の駅）	感染予防対策のための物品・機器を整備し、庁舎等の市有施設における感染拡大防止を図り、市有施設の感染者発生に備えた庁舎消毒体制を構築することができた。
9-2	衛生資材の確保・提供（社会福祉施設等）	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、社会福祉施設や医療機関に衛生資材を配布する。	R2.4	R3.3	8,169,200	8,169,200	感染防止対策に必要な衛生資材を購入し、社会福祉施設や医療機関に配布した。 ・アルコール消毒液（5L） 400本 ・マスク 146,000枚	購入した衛生資材を各施設に配布し、職員や利用者のマスク着用とアルコール消毒を徹底することで感染拡大防止に寄与した。
10	避難所感染拡大防止	災害発生時に備え、避難所用の感染拡大防止にかかる必要な資材を購入するとともに、自主避難所の資材調達を支援する。	R2.5	R3.3	9,134,115	9,134,115	市指定避難所における感染予防対策として必要な資材を設置するとともに、自治会等が開設する自主避難所において必要な感染予防資材の購入費を補助した（1組織あたり限度額2万円）。 ・購入資材：防護服、非接触型体温計、消毒液などの消耗品や扇風機、パーテーション、簡易ベッドなどの備品 ・交付決定数：174組織	災害時等において開設する避難所における感染予防対策に必要な資材を配備することで、避難者の感染症拡大防止に寄与した。また、市民にとって最も身近な自主避難所においても同様の効果が得られたとともに、感染症に対する市民の意識の向上にも繋がった。
11	救急隊員感染拡大防止	救急隊が新型コロナウイルス感染症に感染の可能性がある方を移送する場合に必要な資機材や施設等のウイルスによる汚染を防ぐための機材を購入する。	R2.5	R2.9	1,248,500	1,248,500	救急隊員が、新型コロナウイルス感染症に感染の可能性がある方の移送を行う場合の感染予防資機材を購入した。また、細菌・ウイルスを生活環境から除菌する装置がない救急駐在所において、施設等を除菌する装置を購入した。 ・感染防止対策セット 100セット ・超微粒子スプレー消毒機 2セット	救急駐在所等の施設及び救急自動車において効果的な感染防止対策としての機能を発揮し、施設内での感染者数を抑えることができた。また、救急隊員が感染者の移送を行う場合の感染予防を図り職員の感染者数を抑え、施設閉鎖をすることなく業務を行えた。
12	市民・在留外国人等への情報発信強化	多種多様な支援制度を分かりやすくまとめ、ホームページ、紙媒体やSNSで情報提供を実施する。	R2.4	R3.3	1,233,034	1,233,034	新型コロナウイルス感染症に関する市の方針や取組などを周知する広報たんば臨時号を3回発行した。教育委員会ではLINE公式アカウントを取得し、感染症に関する情報発信を行った。また、コロナ禍における市内外国人の言葉の壁を解消するため、広報などを翻訳したチラシ等の作成、配布や日常生活における相談、情報提供サポートを行った。	外国人を含む市民への周知を拡充し行うことができた。今後は対応窓口の増設やさらなる多言語化への対応が必要である。

令和２年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 取組実績と評価

(単位：円)

No	交付対象事業の名称	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費		取組内容・実績	評価（成果・課題）
						うち臨時交付金		
13	公共交通事業者への支援	公共交通事業者に対し、感染症拡大防止、密にならない運行や安全確保等に要する経費を支援する。	R2. 6	R3. 3	1, 595, 000	1, 595, 000	①新型コロナウイルス感染症拡大を防止し、市民の方が安心してタクシーを利用できる環境を整えるため、感染対策に必要な消耗品及び遮へい板の設置費用の一部を補助（車両１台あたり上限２万円）した。 ・交付決定数 ６件 ②新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、路線バス車内の乗車密度を上げないように配慮した運行に取り組む交通事業者に対して、輸送人員減による減便を回避するための輸送力の維持に要する経費相当分を補助した。 ・対象事業者 神姫グリーンバス株式会社	コロナ禍の中で市民が安心して路線バス、タクシーを利用できる環境を整えることができた。
14	中小企業者販売促進支援	新型コロナウイルス感染症の中小企業者の販売促進に要する経費を支援する。	R2. 6	R4. 3	63, 673, 000	63, 673, 000	中小企業者等に対し、新聞折込チラシ等の作成費・折込料等の販売促進活動に必要な費用の一部を補助（上限20万円）した。 ・交付決定数 298件	外出自粛によって営業活動や販売促進活動の抑制を余儀なくされた市内の事業所の事業継続や営業活動・経済活動の回復につながった。
15	指定管理者営業継続支援	市指定管理施設でのイベントや開館の自粛、貸館事業の休止など感染拡大防止に協力したことに伴い、市から指定管理者への委託料が不足した場合において、休業期間や利用者数規模に応じた営業継続支援等として指定管理料を増額する。	R2. 7	R3. 2	18, 567, 283	18, 567, 283	指定管理施設の休館等に伴い、不足する指定管理料を増額し、休業期間や利用者数規模に応じた営業継続に対する支援や感染症予防対策への支援を行った。 ・支援施設 15施設	公共施設の指定管理者の安定的な運営継続や新型コロナウイルス感染症拡大防止に必要な備品等の購入ができ、指定管理施設の継続的な運営につながった。
16	新しい保育様式への環境整備支援	認定こども園等の保育施設に対し、感染症予防対策や新しい保育様式の整備に要する経費を支援する。	R2. 9	R3. 3	21, 346, 000	21, 346, 000	認定こども園等に対し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会活動の両立を図るための環境整備として、保育室の窓設置や手洗い場の増設、密を避けるために実施した保育環境の改善に要した経費を補助した。 ・利用定員に対し、１万円を乗じた額を上限に補助 ・交付決定数 14施設	従来の保育環境から新しい生活様式に対応した保育環境に移行するために要した経費を補助することで、園児等の感染拡大防止と、社会活動の両立を図るための保育環境を整えることができた。
17	農業者への営農継続応援金	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受け、売上が減少している農業者に対して、営農継続応援金を支給する。	R2. 9	R3. 3	4, 700, 000	4, 700, 000	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受け、売上が前年同期間の農業収入の合計額と比較し、20%以上の減収がある農業者に対し給付金（１農業者あたり10万円）を支給した。 ・交付決定数：47件	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、売上の減少で事業活動に影響を受けた農業者の営農継続に寄与した。
18	農産物の販売促進支援	農産物等のインターネット販売や個人宅配を促進するため、配送料等を支援する。	R2. 9	R3. 3	4, 254, 000	4, 254, 000	農産物等のインターネット販売や個人宅配等の非対面による販売方法に取り組んでいる農業者に対し、配送料等の一部を補助（上限15万円）した。 ・交付決定数：34件	コロナ禍における販売対策として、農産物等の非対面による販売方法への転換と販売促進に寄与した。
19	新生児への臨時特別定額給付金	令和２年４月28日以降に出生した新生児の保護者に対して、10万円分の商品券を支給する。	R2. 9	R3. 3	30, 942, 831	30, 942, 831	令和２年４月28日から令和３年３月31日までに生まれた子どもの保護者を対象に臨時特別定額給付金として商品券10万円を支給した。 ・支給人数 306人	コロナ禍における家計への支援をする目的の下、育児が始まった保護者への商品券の給付は、生活基盤の安定等の面で効果があった。また、給付した商品券は、市内においてのみ使用できるものであり、地域内消費の活性化にも寄与した。

令和２年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 取組実績と評価

(単位：円)

No	交付対象事業の名称	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費		取組内容・実績	評価（成果・課題）
						うち臨時交付金		
20	水道料金の一部免除に伴う繰出金	水道料金の基本料金を２ヶ月間免除する。	R2. 9	R3. 3	85, 148, 591	85, 148, 591	水道を使用する全契約者(官公庁を除く)を対象にして、水道料金基本料金の令和３年２月・３月請求分を免除する。 ・免除件数：52, 475件	外出自粛や在宅勤務による自宅需要の増大や、休業要請等による売り上げが減少するなか、光熱水費の負担軽減を図ることができた。
21	ふるさと丹波市とつながるサイト作成	丹波市を訪れなくても関わり続けることができるよう、サイト（市特設ふるさと寄附金機能を含む）及び関係人口データベースシステムを構築する。	R2. 9	R3. 3	7, 535, 000	7, 535, 000	市外在住者の方を対象としたふるさと住民登録制度を運用しており、登録者の増加や多様な世代の登録の促進を図るため、ふるさと住民登録とふるさと寄附金の２つの機能を備える丹波市ふるさと住民・寄附金特設サイトを創設した。	ふるさと住民登録者の増加と丹波市を応援したい市外の方からのふるさと寄附金が獲得できた。ただ、一般のふるさと寄附金サイトより額は少額であり、寄附金額を増やしていくことが今後の課題である。
22	市民活動・住民自治組織のICT整備	新型コロナウイルス感染症防止対策を行いながら、地域活動の再開に向けた準備を進める中で、自治協議会や市民活動団体の地域活動を継続できるように、オンライン環境を整備等を支援する。また、地域活動をサポートする市民プラザのオンライン環境の整備も行う。	R2. 9	R3. 3	3, 087, 470	3, 087, 470	①自治協議会に対し、オンライン会議用カメラ、プロジェクター、Wi-Fi機器などオンライン会議等に対応できる備品購入の補助（上限10万円）を行った。 ・交付決定数：24団体 （2, 188, 000円） ②市民プラザにおいてオンライン会議等に対応できる備品（オンライン会議用パソコン・システム、WEBカメラ用三脚）を購入した。また、オンライン会議等を実施する自治協議会や市民活動団体向けに、実際の利用シーンに合わせたマニュアルの作成・配布やセミナー等を３回開催した。	コロナ禍においても会議や研修会等が開催できるようにオンライン環境の整備を支援したことで、自治協議会や市民プラザを利用する市民活動団体等が新しい生活様式に適した会議や打ち合わせ等の開催を行うことができるようになり、地域活動の再開につなげることができた。
23	キャッシュレス決済の普及促進	キャッシュレス決済の普及促進のため、市内の交通機関や小売店で広く利用できる交通系ICカードを配布する。	R2. 9	R3. 3	61, 243, 768	61, 243, 768	コロナ禍における新しい生活様式に適したキャッシュレス決済の普及・利用拡大のため、広く使用できる交通系ICカードICOCA（デビット含む２千円）を全世帯に配布した。 ・ICOCAカード配布枚数 25, 503枚	買い物や公共交通機関で広く利用できる交通系ICカードICOCAを各世帯に配布することで、新しい生活様式に適したキャッシュレス決済の普及・利用拡大に寄与した。
24	市立看護専門学校の感染症対策	市立看護専門学校において、感染症防止を踏まえた教育環境の整備を行う。	R2. 5	R3. 2	3, 165, 569	3, 165, 569	感染症防止対策を行いながら、学校での授業や実習等が実施できるように、消毒液等の必要な資材や実習の代替手段としての演習用機材を購入した。 【主なもの】 ・マスク（実習用）、消毒液、校舎内消毒用品、アクリルパーテーション ・多職種連携教育用シュミレータ（１体）	学校内において効果的な感染防止対策としての機能を発揮し、学校内での感染者数を抑えることができた。 演習用機材を購入したことで、臨地実習に行けない分、学内で臨床に近いリアルティある患者の状況を学ぶことができた。
25	中学校特別教室等空調設備の整備	校内での３密を回避するため、中学校の特別教室等の空調設備を整備する。	R2. 12	R3. 12	60, 035, 250	60, 035, 250	中学校特別教室の空調整備工事の実施及びスポットエアコンを購入した。 ・空調機器の整備 33室 （氷上中学校特別教室） ・スポットエアコン 21台 （山南中学校・和田中学校）	各教室に空調機器等を導入したことにより、教室を分けて授業ができ、３密を回避し感染リスクの低減に寄与した。
26	障がい者就労継続支援事業所等への環境整備	障がい者就労継続支援事業所等における感染症対策を行うため、トイレや手洗い場等の整備に対する支援をする。	R2. 12	R3. 11	13, 832, 000	13, 832, 000	就労継続支援B型事業所及び就労移行支援事業所に対し、感染防止対策に必要な消耗品、備品の購入及び工事（手洗い場やトイレ等の改修）に係る費用の一部を補助（上限150万円）した。 ・交付決定件数 10件	感染防止対策に必要な消耗品、備品の購入や手洗い設備等の整備ができたことにより、安心できるサービスの提供と感染リスクの軽減につながった。

令和２年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 取組実績と評価

(単位：円)

No	交付対象事業の名称	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費		取組内容・実績	評価（成果・課題）
						うち臨時交付金		
27	事業者提案を取り入れた市内周遊・観光消費の喚起	丹波市来訪と市内周遊を促進するため、市内宿泊施設の宿泊割引や市内店舗で使える割引クーポンの発行を支援する。また、各宿泊施設に、近隣の観光・飲食施設等と提携した周遊プランの設定を推奨する。	R2. 12	R4. 3	7, 624, 495	7, 624, 495	丹波市来訪と市内周遊を促進するため、市内宿泊施設の宿泊割引（２千円）や市内店舗で使えるクーポン（５００円）の発行を行う丹波市観光協会を支援した。また、各宿泊施設に、近隣の観光・飲食施設等と提携した周遊プランの設定を推奨した。 ・宿泊割引利用者 2, 803人 ・クーポン利用者 1, 754人	コロナ禍の影響により、７月からの実施となったが、途中、まん延防止措置による中断期間を挟み、翌年１月まで支援を行った。宿泊支援とクーポン券の利用により、市内宿泊や市内店舗の利用の促進につながった。
28	丹波市らしい観光誘客拠点の充実	丹波市有数の観光誘客拠点である重点道の駅「丹波おばあちゃんの里」について、３密を回避しながら楽しめる施設へとリニューアルする。また、旧酒蔵を活用した宿泊施設整備を支援する。	R2. 12	R4. 3	102, 722, 680	102, 722, 680	３密を回避しながら楽しめる施設へとリニューアルするため、道の駅「丹波おばあちゃんの里」の物産館（農産物直売施設）の売り場の拡張や屋外での飲食ができるテーブル・ベンチの設置を行い、混雑を回避した。また、新しい生活様式を踏まえた観光誘客に向けて、旧酒蔵を活用した宿泊施設の整備を支援した。	道の駅の３密回避などの感染防止対策をとりながら、丹波市への誘客促進を図るなかで、道の駅における令和４年度上半期の売上額は、令和３年度と比べて１５９％となるなど、観光客が安心して利用し、楽しめる観光誘客拠点となった。また、旧酒蔵を活用した宿泊施設は、新しい生活様式に配慮した観光拠点としての宿泊利用と利き酒体験などの体験型観光を実施している。
29	市役所テレワーク環境の整備	市民の安心・安全に直結する市役所業務の継続性確保のため、テレワーク環境等を整備する。	R2. 12	R4. 3	19, 933, 100	19, 933, 100	行政機能を継続させるため、セキュリティを保ったうえで自宅等からテレワークできる環境を整えた。 ・テレワーク用パソコンの購入 104台 ・会議室のWi-Fi機器の設置 12室	テレワークを行うことができるようになり、市職員の感染が発生した（恐れがある）ときでも、一定の業務は滞らず遂行できる環境が整備できた。
30	国保青垣診療所の感染症対策・地域医療体制の強化	３密を回避するため、診療予約・受付管理・院内表示・自動精算機等を導入する。また、院内感染症対策のため、空気清浄機能付オゾンエア及びオゾン発生器を導入する。	R2. 12	R3. 11	22, 951, 500	22, 951, 500	診療予約・受付管理・院内表示・自動精算機・カルテシステム一式を導入した。また、空気清浄機能付オゾン発生器（１５台）及びオゾン発生器（５台）を設置した。	システムの運用で診察予約が定着し、院内の混雑が大幅に緩和したことに加え、外来患者の精算が自動精算機に切り替わったことで３密の回避に役立っている。また、空気清浄機能付オゾンエアを設置し、感染拡大防止を図ることで、患者等に安全・安心な診察が提供できている。
31	コロナウイルス対応に向けた職員体制の拡充	感染症対策に対する職員体制拡充に要する経費として、職員への時間外勤務手当（コロナ対策分）を支給する。	R2. 4	R3. 3	7, 177, 536	4, 172, 476	新型コロナウイルス感染症関連事業の対応のため、業務量が増大したことにより、当該業務に従事し、時間外勤務を行った職員８０人に時間外勤務手当を支給した。	新型コロナウイルス感染症関連事業を円滑に進めることができ、迅速な支援に寄与した。
32	市立農の学校（就農者研修施設）の学習環境整備	コロナ禍でも農業を学び続けられる環境整備として、遠隔講義等に対応するための機器を購入する。	R3. 3	R3. 7	4, 616, 700	4, 616, 700	感染症拡大防止のため、市立農の学校における講義を遠隔学習等ができるようにするための環境整備を行った。 ・タブレットパソコン 20台 ・電子黒板 1台 ・電源キャビネット他	市立農の学校に遠隔講義等に対応する機器を導入することで、コロナ禍においても研修を継続する環境整備ができ、これからの地域農業を支える人材の育成・確保につながった。
33	公共的空間である公園の環境整備	コロナ禍で外出機会が乏しくなっている市民にとって、コロナと共存しながら公共的空間で安心して活動できるよう、地域資源をモチーフにした公園遊具や、障がいのある子どもも利用しやすいユニバーサルデザイン遊具を道の駅「丹波おばあちゃんの里」に設置し、遊び場の分散などを行う。	R2. 12	R4. 3	21, 513, 100	21, 513, 100	公共的空間で市民らが安心して活動できるように、道の駅「丹波おばあちゃんの里」に、地域資源をモチーフにした遊具やユニバーサルデザイン遊具を設置した。	新しい生活様式が浸透していく中で、３密を回避し、公共的空間を安心して利用できるよう整備した。道の駅「丹波おばあちゃんの里」の令和４年度上半期の入込客数は、令和３年度と比べて１４７％となるなど、市民らが安心して遊べる公共的空間となった。

令和２年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 取組実績と評価

(単位：円)

No	交付対象事業の名称	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費		取組内容・実績	評価（成果・課題）
						うち臨時交付金		
34	丹波市立ミルネ診療所の感染症対策	感染症対策を行いながら診療所や健診センターの診察体制が円滑に運営できるように医療機器を増設する。	R2.12	R4.1	5,548,400	5,548,400	診療や健診を円滑に行うため、診療所と健診センターにベッドサイドモニターやクリーンパーテーション２台を導入し、診療体制の維持と感染防止対策を行った。	感染対策を実施しながら、診療所や健診センターでの通常の診療、健診等を止めることなく運営を行えた。また、発熱外来による検査や新型コロナワクチンの接種も実施し、市内の感染拡大の防止と診療機能の維持に寄与することができた。
35	新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業	県と市町で協調し、県の要請で時短営業に協力した飲食店等の店舗に対し、協力金を支給する。	R3.2	R3.10	18,788,000	18,788,000	兵庫県と協調し、県の要請で時短営業に協力した飲食店等の事業者に対し、協力金の支給した。 ※兵庫県に委託する形で実施 ・対象期間：R3.1.14～2.7（第１期分） ・交付決定数 296件	兵庫県と協調して296件の交付を行い、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に寄与した。
36	孤立しがちな高齢者等見守り推進	２回目の緊急事態宣言を受け、長引く感染拡大によって孤立しがちな高齢者等を民生委員が戸別訪問を行う。	R3.3	R4.2	4,664,941	4,664,941	75歳以上高齢者に困りごとの有無を尋ねる往復はがきを発送し、必要に応じ民生委員が訪問した。 ・往復はがき発送数 11,323通 ・返信 8,937通（返信率 79%） ・訪問数 660件 ・関係機関へのつなぎ 113件	コロナ禍による外出自粛で、高齢者が孤独であることが明らかとなった。また、従来訪問対象ではなかった高齢者との新たな繋がりができた。必要な関係機関の支援へとつなぐことができたケースもあった。
37	ワクチン接種促進に向けた体制整備支援	地域診療とワクチン接種実施の両立に向け、総合調整を行う市医師会及び協力医療機関に対し、ワクチン接種環境の整備に向けた対応支援金を支給する。	R3.3	R3.11	22,500,000	22,500,000	新型コロナワクチン接種実施に伴う環境整備として、市医師会及び集団接種に従事した33医療機関に対し、支援金を支給した。	各医療機関の医師・看護師が、診療時間の時間外及び休診日に集団接種に従事されたことで、安全・安心なワクチン接種体制の確保ができ、効率的なワクチンの使用と接種の加速が実現できた。
38	学校保健特別対策事業費補助金（感染症対策のためのマスク等購入支援事業に限る）	感染拡大の影響による学校の一斉臨時休業に係る対応、臨時休業からの再開及び学校教育活動の継続等を支援する。	R2.5	R2.6	1,760,000	807,000	感染予防のため、小・中学校の児童・生徒の手指消毒用アルコール消毒液を購入し、市内小・中学校（29校）に配布した。 ・アルコール消毒液の購入 1,000 L	教室の出入り口等でアルコール消毒液を整備することにより、学校生活における感染拡大防止につながった。
39	学校保健特別対策事業費補助金（学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業に限る）	感染拡大の影響による学校の一斉臨時休業に係る対応、臨時休業からの再開及び学校教育活動の継続等を支援する。	R2.5	R3.3	39,912,201	19,956,000	感染症対策と学校教育活動の継続を両立を図るため、感染防止に必要な衛生資機材を購入し、市内小中学校（29校）に配布した。また、学習保障のために必要な資機材等を購入した。 【主な資機材等】 ・アルコール消毒液、マスク、非接触型体温計等の感染対策消耗品 ・経口補水液等熱中症対策消耗品 ・電子黒板 36台 ・修学旅行バス増便 7校分	学校教育活動を再開するため、感染症対策等を徹底し、感染リスクの低減に寄与した。臨時休業により夏期休業を短縮したが、熱中症等の事故なく授業ができた。
40	担い手育成・確保等対策地方公共団体事業費補助金	感染症拡大による人材確保が懸念される中、即戦力となる農業者の人材育成を行うため、農業者の育成機関である市立農の学校に教育設備（パイハウス）を導入する。	R2.6	R3.3	9,254,300	4,565,000	人材確保が懸念される中、即戦力となる人材育成のため、丹波市立農の学校に栽培用ハウスを導入した。 ・栽培用ハウス設置 3棟	市立農の学校において、従来のカリキュラムに加えハウス管理・栽培方法等を学習させることにより、これからの地域農業における農業生産の維持と将来の農業生産を支える人材の育成・確保に向けた環境整備ができた。